



東京都議会議員 / 世田谷区選出

福島りえこ

プロフィール

昭和46年世田谷区桜上水生まれ、世田谷区新町在住（最寄り桜新町駅）。東北大学大学院理学研究科修了後、民間研究機関に22年勤務。平成29年より東京都議会議員（2期目）。会派政調会長代行、総務委員会理事、都議会のあり方検討会委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員

令和5年度予算で実現した都民ファーストの会東京都議団の成果と、これに関わる福島りえこの質疑をご紹介します！

フューチャー・ファースト

現在だけでなく将来をも見据える

国に先行してデジタル化を推進

- 元ヤフーCEO宮坂副知事を招聘(2019年度)
- デジタルサービス局の創設(2019年度に前身組織)
- ICT職の新設(2021年度)
- 行政職員のDX人材育成
「東京デジタルアカデミー」を開始(2022年度)
- 都の権限で対応可能な主要119手続中、112手続をデジタル化
- 都税の納税証明取得や都営住宅の応募などを電子化



都をスタートアップ都市として成長させます

世界では国を挙げて取り組む中、日本は出遅れている。

- イノベーションを起こす「場所」を創る
- 行政の規制やルールをリデザイン



福島りえこの関連質疑

質問の背景

行政のみならず、国内企業も約9割がデジタル人材の質・量ともに不足 (IPA「DX白書 2021」)、育成が急務です。これに対して福島りえこは、デジタルを用いて価値を生み出す側の人材育成を目的とした教科「情報II」を都立大学入試で評価するなど提案、実現してきました。

予算特別委員会質問

無償で最新のテクノロジーに触れ相談できる場所「コンピュータークラブハウス」を子供の居場所に併設せよ

デジタルサービス局長回答

先進事例調査やNPOとの意見交換を進め、意欲ある区市町村と協力して取り組む

チルドレン・ファースト

子育て政策で国内を牽引

赤ちゃんファースト事業を実現

出産を応援 22万円分

都独自12万円+国10万円
家事育児の用品購入やサービス利用を支援



少子化対策に本気の政策

すべての子どもに 月5,000円給付 令和5年度スタートを実現!!

所得に関わらずすべての子育て家庭に児童手当相当の支援を小池都知事に政策として要望



所得制限なし

第2子から保育料無償!

所得制限なしで第2子以降の保育費用を無償化します。

令和5年度から

第2子の保育料

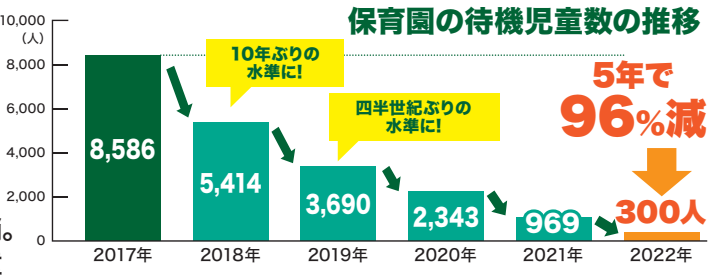
今まで 半額

無償



待機児童は解消!

保育園の待機児童問題を解消。今後は、学童保育の待機児童解消、保育の質の向上、認証保育所を新たな役割でも活用していくことなどに力を入れていきます。



福島りえこの関連質疑

質問の背景

都知事が就任した2016年に比較して、子育て関連施策の予算は2.5倍に伸長しました。効果検証も重要です。

予算特別委員会質問

要因が複合的かつ長期的視点が必要な少子化対策の効果検証のため専門人材と協働した効果検証と政策立案を

知事回答

都民への調査と専門家による長期的視点を踏まえた分析により、それぞれの取組が少子化の歯止めはどう作用したかを検証する

新たに都立公園でインクルーシブ公園を整備

障がいのある子もいない子も、あらゆる年代や環境の子どもたちが隔てなく一緒に遊べる公園づくり。砧公園・府中の森公園に続いて、汐入公園・陵南公園の整備を開始します。プレーリーダーの育成研修にもインクルーシブの考え方を導入します。



プレーパークも都で初めて支援

どろんこ遊びやものをつかったり、子どもたちが自由な発想で外遊びを楽しむことができる、いわゆる「プレーパーク(冒険遊び場)」に取り組む区市町村やNPOなどを支援します。プレーリーダーの育成等にも取り組みます。

福島りえこの関連質疑

質問の背景

わが会派の働きかけにより、都立砧公園に初めて整備されたインクルーシブ公園は、日本中に広がりつつあります。障がいのある子もいない子も一緒に遊べるように、心のバリアを取り除き、インクルーシブな遊びや関わりをサポートする、プレーリーダーが求められています。

予算特別委員会質問

令和5年度より始まるプレーリーダー育成事業においては、「インクルーシブなあそび」の視点を研修に取り入れ、インクルーシブ・プレーリーダーの育成を図るべき

子供政策連携室長回答

有識者の知見も活用しながら、先進事例や専門的な知識等を習得する機会を創出し、インクルーシブな視点を備えたプレーリーダーの育成に取り組む

セーフシティ・ファースト

命と暮らしを守る

町会・自治会の防災備品の見直しを支援

補助率100%

30万円



関東大震災100年 町会・自治会防災力強化助成

マンション防災を支援

補助率

3分の2

防災備蓄資器材の整備費用を補助 (事業開始にむけて準備中)

福島りえこの関連質疑

質問の背景

阪神・淡路大震災では、自助共助による救出が8割でした。発災後の被害を抑制するためには、コミュニティの再生が不可欠です。

令和4年第9回定例会総務委員会質問

「TOKYO強靱化プロジェクト」にコミュニティの役割を明確に位置づけたいうえで、町会自治会に属していない人にも、地域の防災の取組への関心と参画を広げるべき

都市強靱化プロジェクト担当部長回答

今後、本プロジェクトの中で、コミュニティを地域における共助の担い手として位置づけ、関係局や地元自治体とも連携し、地域の防災活動への参加が比較的少ない若年層等に対しても防災意識の共有を図る

太陽光パネル設置に補助

1.新築住宅への太陽光パネル設置

- 補助金額(新築):1kWあたり12万円(上限36万円)
- 更に、高い省エネ性能を持つ新築住宅に対して費用の助成と不動産取得税の5割~10割の減免

2.既存住宅への太陽光パネル設置

- 補助金額(既存):1kWあたり15万円(上限45万円)
- 更に、断熱改修やエコキュート・蓄電池等の設置にも別途補助あり



福島りえこの関連質疑

質問の背景

住宅への太陽光パネルの導入と併せて蓄電池やヒートポンプ*給湯器等を設置し、発生した電力を自家消費することで、脱炭素・災害対策・電気代の高騰対策の3つのメリットが得られます。一方、ヒートポンプ給湯器などの稼働時の低周波音が近隣住民に迷惑にならない対策も重要です。

*ヒートポンプとは気体の圧縮・膨張と熱交換を組み合わせることで、熱を効率的に集めて移動させる技術のことです。

予算特別委員会質問

再エネ機器の導入推進の補助金の申請に施工ガイドライン準拠を求めることで生活環境に配慮した自家消費の推進を

環境局長回答

令和5年1月の蓄電池導入の補助率の大幅引き上げにあたり再エネ機器等の補助に施工ガイドライン準拠の誓約を求め、太陽光発電の電力を利用できるエコキュートも同枠組みとする

「東京大改革」の推進

情報公開・ワイスペンディング

ワイスペンディング 福島りえこの関連質疑

質問の背景

社会課題に影響する複数の要因を切り分け、個別事業の効果を図るために、統計分析が必要です。福島りえこの継続した働きかけを受け、都は、令和5年度予算編成の政策評価で、外部有識者のサポートを受けつつ、初めて統計分析に取り組みました。これを発信することは、国内のEBPM*の推進につながると考えます。

*EBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング)とは、政策の企画において、エビソードではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠(エビデンス)に基づいて行うことです。

予算特別委員会質問

国内のEBPM推進のため5年度予算編成で新たに取組んだ統計的手法による政策評価結果を都庁内と都民へ伝えよ

財務局長回答

分析事例を取りまとめ各局と共有し、都民へ情報発信する

東京2020大会 福島りえこの関連質疑

質問の背景

かねてより私たちは、組織委員会のガバナンス不足を繰り返して指摘してきましたが、組織委員会は、都の拠出金のうち57億円を都に返還するなど、外部からのチェックを避ける対応を繰り返しました。既に組織委員会は解散、業務は清算法人に引き継がれています。

予算特別委員会質問

東京2020大会の清算法人の体制確保や都としてのチェックの仕組みを。知事の見解は



令和5年度予算特別委員会で総括質疑をする福島りえこ

知事回答

都職員が清算法人の職を兼務する等、体制確保に向け支援、清算法人が行う損害賠償請求や公費返還等への対応をチェックする

ご意見をお寄せください。

発行元/お問合せ
都民ファーストの会東京都議団
東京都議会議員

福島りえこ

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都議会議事堂5階
TEL 090-8345-6086 FAX 03-4243-2721
E-MAIL tomin1st.fukushima.rieko@gmail.com

E-mail QR

